

緩斜面災害を軽減するための調査手法の開発

背景

周氷河斜面※災害を軽減するためには、危険箇所の把握が必要だがその調査手法は確立されていない。

※周氷河斜面：寒冷地特有の緩斜面

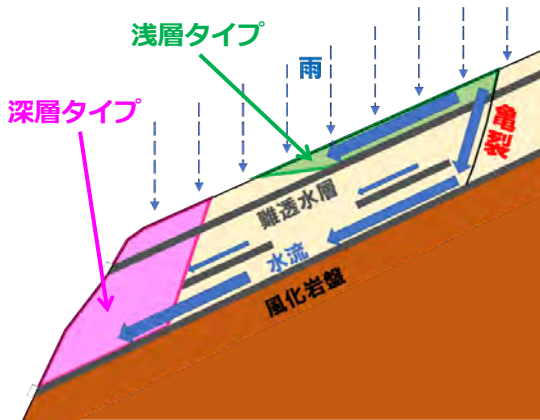


豪雨による緩斜面災害で集落が孤立

成果

1 崩壊危険箇所の特定

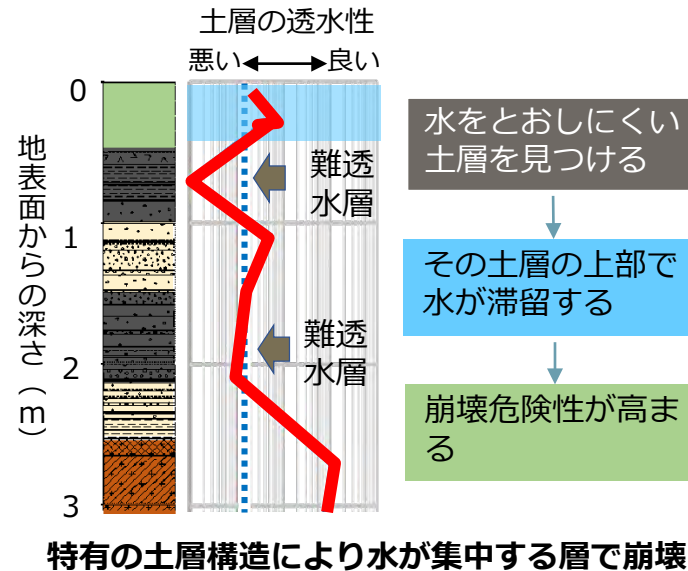
地形をふまえた危険箇所のタイプ（浅層、深層）を区分



期待される効果

調査マニュアルの活用により、周氷河斜面を対象とした防災対策に貢献する。

2 崩壊メカニズムの解明



3 技術者用調査マニュアル作成

道総研WEBで公開予定、講習会等で活用



多くの写真を使ってわかりやすく説明